



# 安全データシート

## Gliadin Renaturing Cocktail Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2026/01/13 バージョン: 1.0

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Gliadin Renaturing Cocktail Solution  
製品タイプ : Food Safety -- [Food Safety]  
製品コード : 8515  
Part Number(s) : 8515|8515B|700002595|700002596

#### 会社情報

##### 仕入先

Neogen Corporation  
48912  
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place  
T 800.234.5333  
[sds@neogen.com](mailto:sds@neogen.com) - <https://www.neogen.com/>

##### 輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社  
220-0012  
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい 3-3-3 横浜コネクトスクエア  
12階  
T 045-211-4615

#### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 24 hours:  
Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)  
Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	区分に該当しない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない

# 安全データシート

## Gludin Renaturing Cocktail Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

### ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 警告

危険有害性 (GHS JP)

: 強い眼刺激 (H319)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (H373)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)

取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

: 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

(P305+P351+P338)

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)

廃棄

: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Guanidinium chloride	≥ 15 - < 25	(1)-215,(2)-1773	既存化学物質	50-01-1

## 4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

: 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

吸入した場合

: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

# 安全データシート

## Gludin Renaturing Cocktail Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合 : 医師の診断 / 手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	: 救急隊員は、適切な個人用保護具を装備する。

### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 眼に入った場合	: 眼刺激。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 通常の条件下では特に無し。

### 医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	: 対症的に治療すること。
-------------------	---------------

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。
-------	--

### 非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 漏出エリアを換気する。 粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。 皮膚、眼との接触を避ける。

### 緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

# 安全データシート

## Gladin Renaturing Cocktail Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。  
流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。  
可能であればリスクなく漏出をせき止める。

浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : データなし

安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
皮膚、眼との接触を避ける。  
個人用保護具を着用する。

### 接触回避

衛生対策 : データなし

: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗う。

### 保管

安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料 : データなし

技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

### 保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具 : 保護用手袋

眼の保護具 : 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

外観 : 液体

色 : 透明色

臭い : 無臭

pH : データなし

融点 : データなし

凝固点 : データなし

沸点 : データなし

# 安全データシート

## Gliadin Renaturing Cocktail Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

### 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

Gliadin Renaturing Cocktail Solution	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の 1.42%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の 78.94%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の 78.94%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている
Guanidinium chloride (50-01-1)	
急性毒性 (経口)	ラット LD50 値 1120mg/kg、908mg/kg (推)、774mg/kg (雌) (IUCLID (2000)) が全て区分 4 に該当している。
急性毒性 (経皮)	ウサギの LD0 値が >2000 mg/kg (IUCLID (2000)) により区分外とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	ラットの LC50 値が 5.319 mg/L (IUCLID 2000) より、区分外とした。
LD50 経口 ラット	774 – 907 mg/kg BW (Equivalent or similar to OECD 401, Rat, Male / female, Experimental value, Oral, 14 day(s))

# 安全データシート

## Gliadin Renaturing Cocktail Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Guanidinium chloride (50-01-1)	
LD50 経口	774 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	> 2000 mg/kg BW (Equivalent or similar to OECD 402, 24 h, Rabbit, Male / female, Experimental value, Dermal, 14 day(s))
LD50 経皮	2500 mg/kg
LC50 吸入 - ラット	5.32 mg/l (OECD 403: Acute Inhalation Toxicity, 4 h, Rat, Male / female, Experimental value, Inhalation (aerosol), 14 day(s))
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	5.319 mg/l/4h

皮膚腐食性 / 刺激性 : 分類できない

Guanidinium chloride (50-01-1)	
皮膚腐食性 / 刺激性	ウサギを用いた試験 (EPA ガイドライン) により「強い刺激性 (highly irritating)」を示し (IUCLID (2000))、さらに EU 分類において Xi; R36/38 であることから、区分 2 とした。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 : 強い眼刺激

Guanidinium chloride (50-01-1)	
眼に対する重篤な損傷性 / 刺激性	ウサギを用いた試験 (EPA ガイドライン) において、刺激性 (irritating) を示し (IUCLID (2000))、さらに EU 分類において Xi; R36/38 であることから、区分 2A とした。

呼吸器感作性 : 分類できない

Guanidinium chloride (50-01-1)	
呼吸器感作性	データなし。

皮膚感作性 : 分類できない

Guanidinium chloride (50-01-1)	
皮膚感作性	モルモットを用いた皮膚感作性試験 (Buehler Test) (EPA ガイドライン) において感作性なしの記載 (not sensitizing) (IUCLID (2000)) があるが、List 2 のデータであるため分類できないとした。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

Guanidinium chloride (50-01-1)	
生殖細胞変異原性	in vivo 変異原性試験のデータがなく分類できない。なお、エームス試験 (in vitro 変異原性試験) では陰性結果 (IUCLID (2000)) が得られている。

発がん性 : 分類できない

Guanidinium chloride (50-01-1)	
発がん性	データなし。

生殖毒性 : 分類できない

Guanidinium chloride (50-01-1)	
生殖毒性	データなし。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない

Guanidinium chloride (50-01-1)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

# 安全データシート

## Gliadin Renaturing Cocktail Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Guanidinium chloride (50-01-1)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし。
NOAEL (経口、ラット、90 日)	100 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity Study in Rodents), Guideline: EU Method B.26 (Sub-Chronic Oral Toxicity Test: Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity Study in Rodents)

誤えん有害性 : 分類できない

Guanidinium chloride (50-01-1)	
誤えん有害性	データなし。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分に該当しない

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分に該当しない

Guanidinium chloride (50-01-1)	
水生環境有害性 短期 (急性)	データなし。
水生環境有害性 長期 (慢性)	データなし。
LC50 - 魚 [1]	1758 mg/l (DIN 38412-15, 48 h, Leuciscus idus, Experimental value, GLP)
EC50 - 甲殻類 [1]	70.2 mg/l (Equivalent or similar to OECD 202, 48 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Experimental value, Locomotor effect)
EC50 72h - 藻類 [1]	11.8 mg/l Test organisms (species): Raphidocelis subcapitata (previous names: Pseudokirchneriella subcapitata, Selenastrum capricornutum)
EC50 72h - 藻類 [2]	33.5 mg/l Test organisms (species): Raphidocelis subcapitata (previous names: Pseudokirchneriella subcapitata, Selenastrum capricornutum)
ErC50 藻類	33.5 mg/l (EU Method C.3, 72 h, Pseudokirchneriella subcapitata, Static system, Fresh water, Experimental value, GLP)
NOEC (慢性)	2.9 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna Duration: '21 d'
NOEC 魚 慢性	≥ 181 mg/l Test organisms (species): Pimephales promelas Duration: '35 d'
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	< -1.7 (Experimental value, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 20 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.358 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

### 残留性・分解性

Gliadin Renaturing Cocktail Solution	
残留性・分解性	急速分解性でない

Guanidinium chloride (50-01-1)	
残留性・分解性	Not readily biodegradable in water.

# 安全データシート

## Gliadin Renaturing Cocktail Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

### 生体蓄積性

Gliadin Renaturing Cocktail Solution	
生体蓄積性	データなし
Guanidinium chloride (50-01-1)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	< -1.7 (Experimental value, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 20 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.358 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

### 土壌中の移動性

Gliadin Renaturing Cocktail Solution	
土壌中の移動性	データなし
Guanidinium chloride (50-01-1)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	< -1.7 (Experimental value, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 20 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.358 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)
生態系 - 土壌	Highly mobile in soil.

### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

## 13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
残余廃棄物	: 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。 廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

UN RTDG に準ずる

国連勧告 (UN RTDG)
国連番号
輸送規則の定義上危険物に該当しない。
国連正式品名
規制されていない

# 安全データシート

## Gludin Renaturing Cocktail Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

国連勧告 (UN RTDG)	
輸送危険物分類	規制されていない
容器等級	規制されていない
環境有害性	規制されていない

### MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

#### 国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

## 15. 適用法令

#### 国内法令

- 労働安全衛生法 : 【改正後 令和8年4月1日以降】  
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2）  
【改正後 令和9年4月1日以降】  
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2）  
【改正後 令和8年4月1日以降】  
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）  
グアニジンの塩酸塩、硝酸塩及び炭酸塩（別表の番号：434）  
【改正後 令和9年4月1日以降】  
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）  
グアニジンの塩酸塩、硝酸塩及び炭酸塩（別表の番号：434）
- 水質汚濁防止法 : 指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3）
- 海洋汚染防止法 : 有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1）  
有害液体物質（Z類同等の物質）（環境省告示第148号第3号）
- 労働基準法 : 疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）

## 16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。